

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会
令和7年度 第1回 認知症対策部会 会議録

開催日時	令和7年7月9日（水） 午後2時00分～午後4時00分
開催場所	生駒メディカルセンター 研修室
出席者 （委員）	山上部会長、佐々木委員、太田委員、徐委員、古田委員、尾山委員、大谷委員、中田委員、高原委員、竹田委員、笹本委員、山中委員
事務局	田中特命監 地域包括ケア推進課 秋永課長、齊藤課長補佐、田村係長、黒松係長、稲垣
傍聴	なし
案件	(1) 部会長選出・副部会長指名 (2) 認知症対策部会のこれまでの取組と課題について (3) 令和7年度活動スケジュールについて (4) 介護施設やグループホームの見学内容の検討 (5) 多職種連携研修及び本人ミーティングの見学・意見交換会について (6) 認知症安心ガイド（認知症ケアパス）の改訂について
資料	会議次第 (資料1) 認知症対策部会員名簿 (資料2) 生駒市の医療・介護連携の取組 (資料3) 令和7年度活動スケジュール (資料4) 介護施設やグループホームの見学について (資料5) 「入退院調整マニュアルの活用方法」グループワークまとめ (資料6) 本人ミーティングチラシ (資料7-1) 現行 認知症安心ガイド (資料7-2) 世田谷区認知症あんしんガイド (資料7-3) 認知症安心ガイド（認知症ケアパス）（案） 〈参考資料〉ロードマップ・ロジックモデル
議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
事務局	<p>1 開会 田中特命監より挨拶 部会員のご紹介 事務局紹介 会議の公開、録音了承</p> <p>2 案件 案件(1) 部会長選出・副部会長指名 委員の互選により山上委員を部会長に選出。 山上部会長、古田委員を副部会長に指名。</p>

<p>部会長 事務局</p>	<p>案件(2) 認知症対策部会のこれまでの取組と課題について (資料2に基づき事務局から説明) 今年度から第4期が始まるにあたって、これまでの認知症対策部会の流れを説明。</p> <p>特に意見なし</p>
<p>部会長 事務局</p>	<p>案件(3) 令和7年度活動スケジュールについて (資料3に基づき事務局から説明) ロードマップを基に案件(4)～(6)を実施していく。 今年度は、年間3回の部会を開催予定。</p> <p>特に意見なし</p>
<p>部会長 事務局</p>	<p>案件(4) 介護施設やグループホームの見学内容の検討 (資料4に基づき事務局から説明) ・各施設で行われている運営推進会議の場を借りて、意見交換を実施予定。 運営推進会議は、事業所が地域に開かれたサービス提供を行うことを目的に、活動報告・サービス内容の共有・意見や要望の聴取などが行われている。部会員が参加することで、顔の見える関係づくりを進めたいと考えている。 ・見学を通して得られた気づきや、「地域とどうつながるか」について話し合い、第2回認知症対策部会で各部会員が報告。報告内容を基に、今後の新たな施策等の実施に活かしていく。 ・見学先は事務局で割り当てているが、部会員の都合により適宜変更。各施設2～3名程参加予定。</p> <p>(グループワークのポイント) 地域とのつながりや部会員同士で職種や立場で地域とつながるために何が できるのか、見学を経て報告できるように取組の方針を共有。</p>
<p>部会長 部会員</p>	<p>竹田部会員に運営推進会議ではどのような話をしているのか参考に教えていただきたい。 (竹田部会員からの説明) 2カ月に1回開催しており、グループホームさくら内での運営推進会議は、事業所内でどのような行事をしているか、また、地域の方々とどのような行事に参加していただいた等の報告をしている。参加者は地域の民生委員や医療職の方や行政職員、家族の方等で、大体5名から8名程度で会議を行っている。</p> <p>グループワークを実施 今後の見学・意見交換に向けて、グループワークを実施。</p>
<p>事務局</p>	<p>後日補足内容をメールで連絡する。(別添資料1参照)</p>
<p>部会長 事務局</p>	<p>案件(5) 多職種連携研修及び本人ミーティングの見学・意見交換会について (資料5, 6に基づき事務局から説明) 多職種連携研修 今年度は11月14日に、多職種連携研修を実施予定。昨年度は、地域医療課と</p>

	<p>在宅医療連携部会の主催で、病院、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターが参加し、意見交換が行われた。病院から居宅、居宅から病院といったように、それぞれの立場から率直な意見が交わされた。</p> <p>今回、その際に出された意見をまとめた資料をもとに、内容をさらに深掘りしていく計画となっている。資料には、参加者が「強く共感する」、「共感する」と感じた意見にシールで印を付けており、関心の高いポイントが視覚的に示されている。「身寄りのない人への対応」など、特に課題感の強かったテーマを中心に据え、当日のグループワークでは、部会員に各グループのファシリテーションを担当してもらう予定。</p> <p>本人ミーティング (本人ミーティングの概要を説明)</p> <p>令和5年から2か月に1回の頻度で実施していたが、現在は毎月開催しており、3～5人程度の本人が継続して参加するようになったことで、徐々に定着しつつある。今年からは北南エリアにも開催範囲を広げ、北エリアではフードコートで実施予定。</p> <p>取り組み開始から当初は本人の世間話を中心だったが、最近では「認知症」というキーワードを提示し、そのテーマに対する本人の思いや考えを聞き出す段階に入ってきた。会話の中では、専門外来に通っていることや認知症治療薬を服用しているといった話題も出るようになり、支援者側にとって新たな気づきを得られる機会となっている。こうした会は、本人にしか語れない貴重な視点を含んでおり、今後の施策づくりに活かしていくべきものと捉えている。また、参加者をさらに広げていくためには、医療機関など多くの人の目に触れる場所での案内が効果的と考えられる。なお、開催時間は毎月14時から15時半まで。参加に関する詳細については、後日メールにて案内を送付。(別添資料2)</p> <p>特に意見なし</p> <p>部会長 事務局</p> <p>案件(6) 認知症安心ガイド(認知症ケアパス)の改訂について (資料7-1, 7-2, 7-3に基づき事務局から説明)</p> <p>改訂を行う背景には、令和5年5月に認知症基本法という法律が成立し、令和6年1月に施行されたことがあり、新たな法制度のもと、認知症の人がこれからさらに増えていく中で、新たな情報を盛り込み、誰もが手軽に手に取れる親しみやすく実用的な啓発にすることを目指している。</p> <p>部会員</p> <p>意見① ケアパスを初めて作成した当時、患者や家族に配布し、病院に設置するとすぐになくなるほど関心を集めた。多くの人が認知症に対する情報を求めていることが伺えた。</p> <p>現行のケアパスは、「どこの専門機関に行けばよいか」、「初期症状は何か」といった医学的な情報が中心であった。当時はそれで十分であったが、現在では認知症への理解が広がり、一般の人にも浸透しつつある。そのため、今後のケアパスは、本人や家族が使いやすく、安心できるガイドとなることが求められている。</p> <p>意見② 実際の業務でケアパスを用いて説明することが多い。特に、認知症について全</p>
--	---

	<p>く知らない家族にとっては、非常に役立ち、喜ばれる。しかし、内容が硬く、文字量も多いため、読みづらさを感じる場面も少なくない。説明の際には、ページを行き来しながら補足説明をする必要があり、利用者にとっても説明する側にとっても使いづらい構成になっている。本人と一緒に読み進めながら内容を確認できるような構成が望ましい。Q&A形式は有効であるが、新しいケアパスでは認知症に興味を持っている人に対しては、情報がやや不足していると感じる。現行版を残しつつ、より分かりやすく、充実した新しいバージョンの作成が望まれる。</p> <p>意見③ 現行のケアパスは、認知症サポーター養成講座やヘルパー研修などで教材として重宝されている。そのため、現行版は引き続き活用できる形で残しておく必要があると考える。ただし、当事者の視点から見ると、やや理解しにくい構成となっている。本人が疑問を一つひとつ解消しながら読み進められるような順序、内容にすることが望ましい。 また、「地域包括支援センター」に対して敷居が高いという印象を持たれることがある。そのため、包括へ自然にアクセスできるような導入や案内があるとよい。</p> <p>意見④ 入退院時に利用できるサービスや予防について、ケアパスを活用している。家族が不安を感じ、ケアマネジャーへの相談があった際は、6ページを使用して説明を行うことが多く、現在の症状がどの段階にあるか、家族が気づくきっかけとなる資料として活用できている。 しかし、本人に対しては文字が多く、わかりづらいため、より視覚的で興味を引く構成に改善する必要がある。文章だけでなく写真や図解を取り入れることで、理解しやすくなると考える。 チェックリストについては、最初に提示すると気持ちが落ち込んでしまうことがあるため、構成の途中で自然に組み込む形が望ましい。 世田谷区のケアパスは、内容に解説があり、「かかりつけ医に相談し、早めに受診すること」の意義が伝わってくる構成となっており、参考になる。</p> <p>事務局 今回の意見をもとに、追加の要望があれば後日メールで対応する予定。 11月には内容を確認してもらい、今年度中の完成を目指して新たなケアパスの作成を進めていく。</p> <p>部会長 では、長時間にわたりましてグループワーク等ありがとうございました。ではこれをもちまして、第1回の認知症部会は終了させていただきます。ありがとうございました。</p> <p>16:00 閉会</p>
--	--